

かなざわじょうとう

# 金沢城東地区

(石川県金沢市)

- 計 画 期 間 令和元年度～令和5年度
- 面 積 12.8ha
- 交付対象事業費 4,238.2百万円
- 市人口 447,209人

**ポイント** 大学や医療機関が多く立地し、文教地区としてまちづくりを進めてきた当該地区の都市機能のさらなる集約化を図るため、金沢大学工学部跡地周辺を中心拠点誘導区域に設定し、「金沢美術工芸大学」および「石川県立図書館」を整備する。

**地区概要** 城東地区は、中心市街地に隣接し、金沢大学工学部が移転したことにより、若年層の人口が減少するとともに、高齢化が進んだことにより地区の活性化が課題となっている。

## 目 標

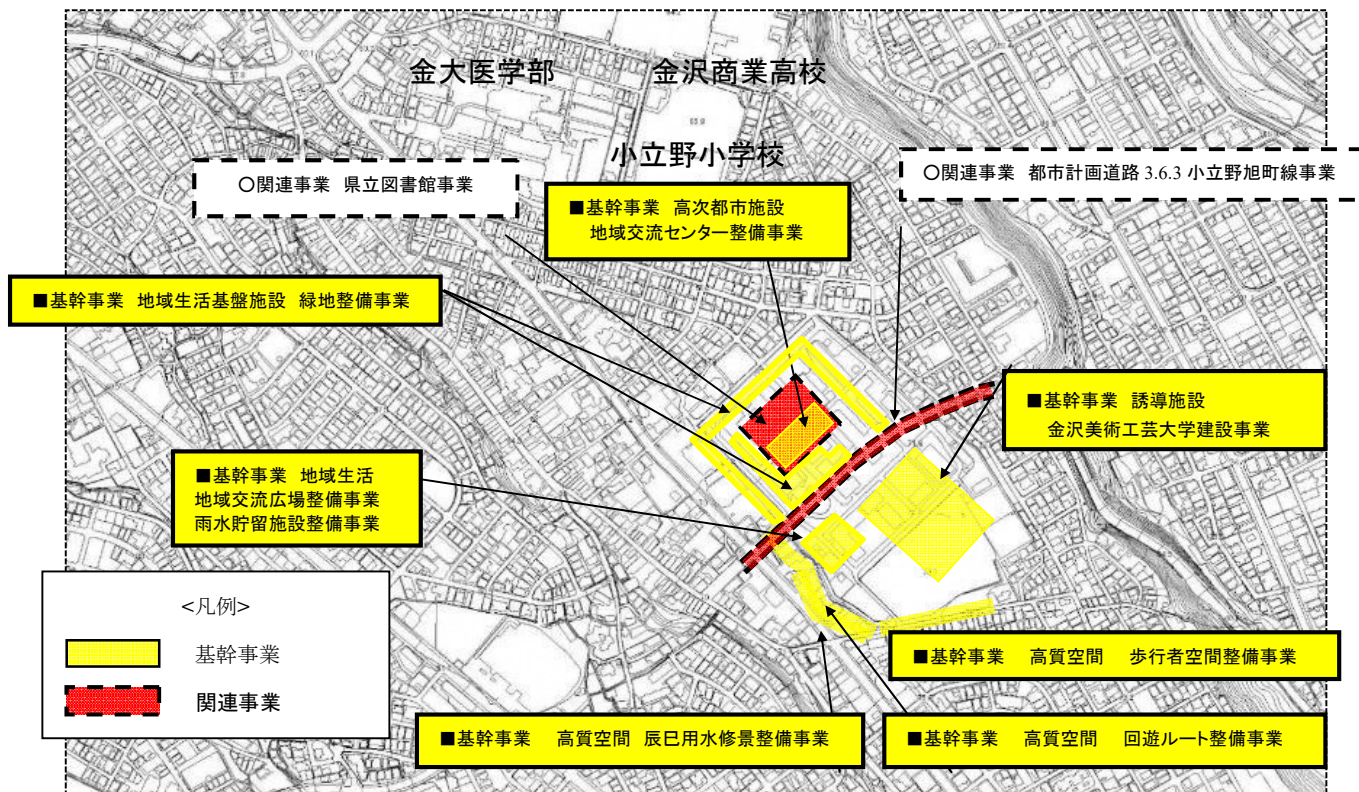
芸術・文化・教育の発信拠点を整備し、地区の交流機能を向上させるとともに、質の高い居住環境を構築する。

## 指 標

居住誘導区域内の人口	平均△30人/年 (H27)	→	平均0人/年 (R5)
金沢美術工芸大学の一般利用者数	3,000人/年 (H29)	→	23,000人/年 (R5)
県立図書館の利用者数	245,000人/年 (H29)	→	600,000人/年 (R5)

## 事業内容

基幹事業 (4,238.2百万円) → 地域生活基盤施設 (地域交流広場、緑地、雨水貯留施設)、高質空間形成施設 (辰巳用水修景、回遊ルート、歩行者空間)、高次都市施設 (地域交流センター)、誘導施設 (金沢美術工芸大学)



## 地区の現況と課題

### 現況

金沢城東地区は、中心市街地に隣接し、豊かな水や緑、歴史性に彩られた落ち着いた住宅地が形成されている。

また大学や医療機関が多く存在するなど、文教地区として都市づくりを進めてきた。

### 課題

金沢大学工学部が移転したことにより、学生を中心とする若年層の人口が減少するとともに、高齢化が急激に進んでおり、空き家や空き店舗が増えるなど、地域の賑わいが衰退していることから、工学部跡地の広大な未利用地を活用した地区の活性化が課題となっている。



金沢美術工芸大学イメージパース



辰巳用水（整備後）

## 計画策定プロセス

### 「金沢市都市再生協議会」の設立

芸術・文化・教育の発信拠点を整備し、城東地区の交流機能を向上させるとともに、質の高い居住環境を構築するため、都市再生整備計画を策定した。その実施に関し、関係機関で必要な協議を行っていくため、平成30年12月に金沢市・石川県で「金沢市都市再生協議会」を設立した。